

02 攻撃から身を守る 甲と冑

むかし ひとびと てつ かわ かぶと よろい つく たたか
昔の人々は、鉄や革でできた冑や甲を作って戦っていたよ。

かぶと まえ とが しょうかくつきかぶと ぼうし ひさし
冑には、前が尖っている衝角付冑、帽子のような庇のつい

まびさしつきかぶと まびさしつきかぶと ひさし ぶぶん すかしぼり
た眉庇付冑などがあるよ。眉庇付冑の庇の部分には透彫のも

よろい くび かた まも べつ
ようがあるよ。甲には、首や肩を守るパーツが別になってい

くび まも いったい えりつきたんこう
るものや、首を守るパーツが一体になっている襟付短甲など

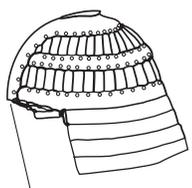
えりつきたんこう さかい おおつかやまこふん くろひめやまこふん
があるんだ。襟付短甲は、堺では大塚山古墳や黒姫山古墳で

み ぜんこくてき めずら
見つかっているけど、全国的にはとても珍しいものだよ。

かぶと よろい つく み
冑や甲を作っているパーツもよく見ると、

かたち
いろいろな形のものがあるね。

しょうかくつきかぶと
衝角付冑



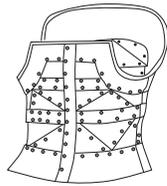
とが ぶぶん しょうかく
尖った部分…衝角

まびさしつきかぶと
眉庇付冑



まびさし
眉庇

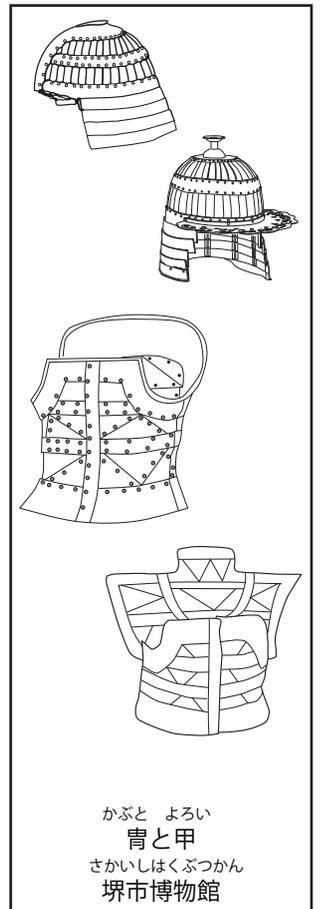
たんこう
短甲



えりつきたんこう
襟付短甲



けいこう
挂甲



つく
<オリジナルしおりを作ろう>

みぎ す いろ ぬ しかく き
右のイラストに好きな色を塗って、四角く切りぬ

せかい まい かんせい
いたら、世界に1枚だけのしおりが完成するよ！